

研究課題名「当教室における膵頭十二指腸切除術後出血に対する対策と  
治療効果に関する観察研究」に関する情報公開

1. 研究の対象 2001年1月1日～2019年12月31日までに当院で膵切除術を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

外科的切除は膵疾患に対して根治が期待される唯一の治療法です。近年では周術期管理の改善に伴い、術後合併症が減少傾向ではありますが、依然として手術関連死亡が根絶しない状況です。特に膵頭部病変に対して行われる膵頭十二指腸切除は侵襲が高く、合併症も多いことが知られています。その中でも、膵頭十二指腸切除後の手術関連死亡の大半は膵液瘻に起因した出血（Post-Pancreatectomy Hemorrhage：以下 PPH）であり、最も重篤な合併症であることに異論はありません。

2001年1月1日～2019年12月31日までに当院で膵頭十二指腸切除術を受けられた方を対象とします。収集された臨床情報を用い、膵液瘻、PPH、手術関連死亡と治療内容につき比較検討し、PPH症例について解析を行います。

研究期間：実施承認日～2021年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、膵疾患治療歴、手術日、手術前後の血液検査結果、腹部CT画像等

試料：なし

4. お問い合わせ先本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学  
TEL: 052-744-2245 FAX: 052-744-2252

研究分担者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・助教・田中伸孟

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・教授・小寺泰弘